

<対策のポイント>

我が国への輸入木材の供給不足等に起因し、国内において木材需給のひっ迫（いわゆるウッドショック）が続いている状況に加え、今般のウクライナ情勢の影響により、ロシアからの単板等の輸入が禁止されるなど、更なる国内への木材輸入量の減少が生じつつある事態となっています。このことから、ロシア材から国産材への転換等を図ることで、更なる国内の木材需給等への影響が生じないよう対応していくため、**国産材製品の増産に伴う原木・製品の運搬や一時保管、国産材製品への転換を図る設計・施工方法の導入や普及を臨時的に支援**します。

<事業目標>

ウクライナ情勢の影響を受けた我が国の木材需給の更なるひっ迫への影響緩和

<事業の内容>

1. 原木・製品の運搬・一時保管緊急支援

ロシア等からの木材輸入減少により不足する建築用木材を緊急的に増産し流通させるため、原木については、通常よりも多くの量を確保することから、事業者に対して、**遠方の原木供給地からの運搬経費を支援**します。製品については、事業者に対して、**増産した製品を通常の出荷圏を超えて遠方の需要地へ運搬するための経費を支援**します。

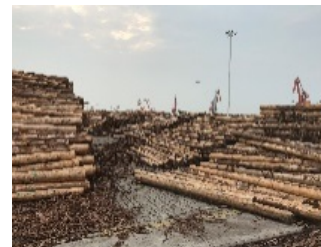
さらに、増産した原木、製品について、平時の保管場所だけでは不足することから、事業者に対して**一時保管に必要な経費を支援**します。

2. 建築用木材の転換促進支援

ロシア等からの木材輸入減少により不足する建築用木材を緊急的に代替するため、**建築物の設計・施工事業者が国産材製品への転換を図る設計・施工方法の導入及び普及に要する経費を支援**します。

<事業イメージ>

原木・製品の運搬・一時保管緊急支援



緊急的な国産材製品の増産のための運搬経費や一時的な保管経費の掛かり増しに対する支援

建築用木材の転換促進支援



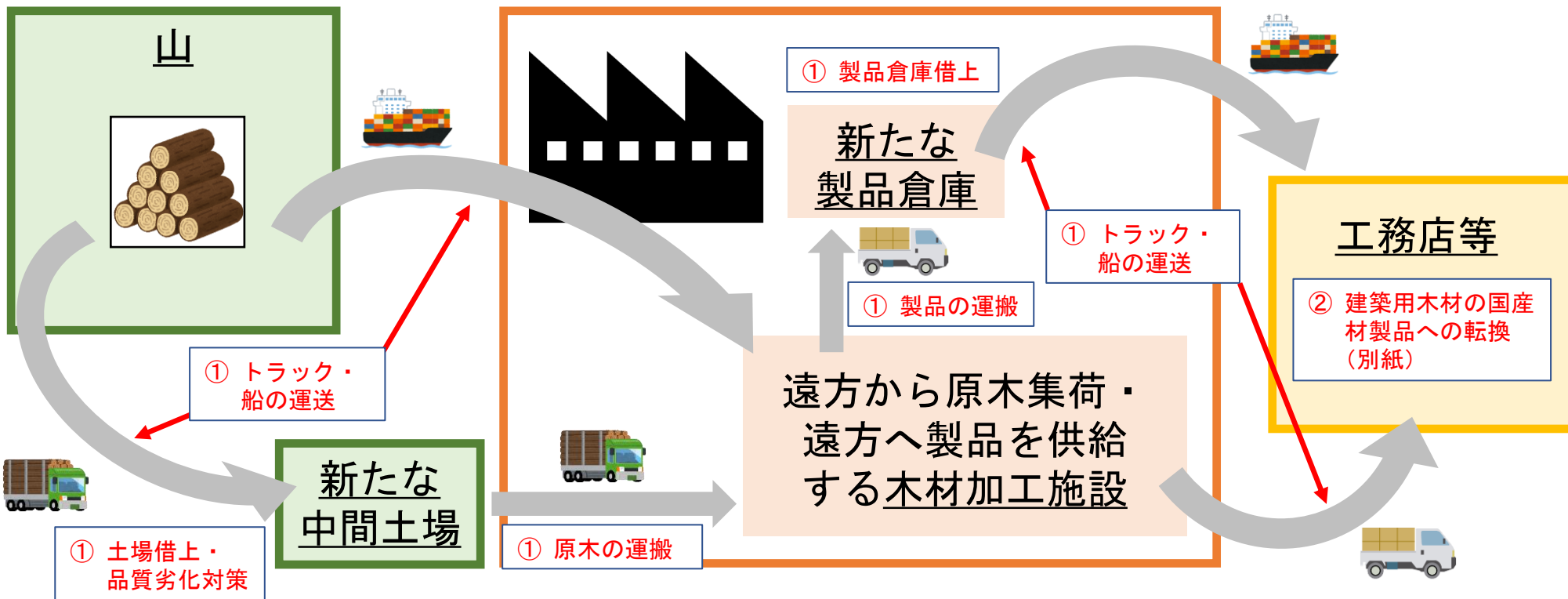
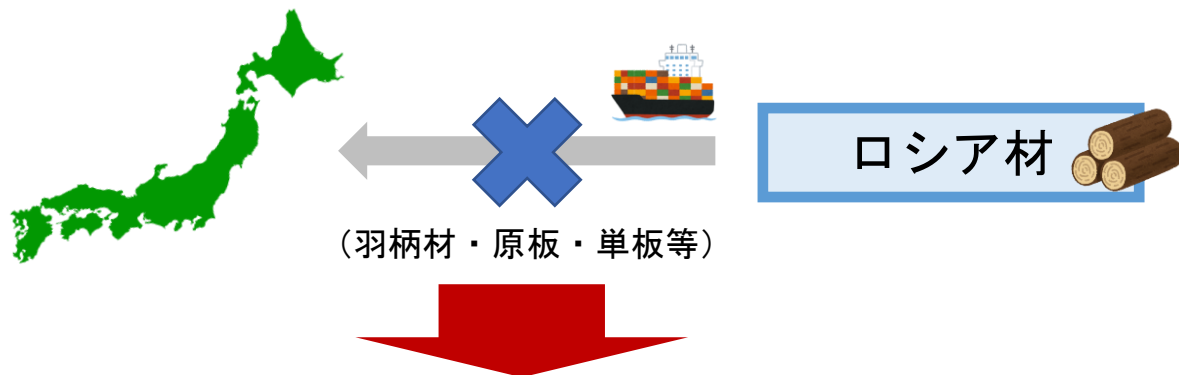
施工事業者による木材の調達や、設計事業者による設計変更（CLT工法への変更を含む）に要する経費を支援

<事業の流れ>



国産材転換支援緊急対策事業の具体的な内容（イメージ）

- ① 原木・製品の運搬・一時保管緊急支援 ② 建築用木材の転換促進支援



建築用木材の転換促進支援の具体的な内容

<転換する製品>

ロシア材供給減少の影響を受ける部材 ⇒ 「品質・性能の確かな国産材製品」へ転換

- ①垂木、野縁等の下地材 ⇒ 乾燥され、節が少ないスギ等の製材
- ②屋根・床・壁用の合板 ⇒ 表裏面の単板にヒノキやカラマツを使用した構造用合板
- ③横架材 ⇒ 比較的強度の高いヒノキやカラマツを使用した製材や集成材

※上記のような部材の転換のほか、これらの部材が用いられる木造軸組構法をCLT工法に転換することも想定

<支援の内容>

施工事業者による木材の調達

ロシア材供給減少の影響を受ける部材を品質・性能の確かな国産材製品で代替する場合、部材の変更や木材の調達方法を見直す必要。

〔使用材積が増加、木材製品の単価が増加、新たな木材の調達先を探す必要があり、かかり増しとなる。〕

設計事業者による木材利用の工夫

下地材や合板をスギ製品に転換する場合、強度や節の多さなどの課題があることから、部材のサイズなどの仕様変更や住宅の高さなどの設計変更が必要。

〔建築物全体について新たに設計が必要であり、かかり増しとなる。〕

技術的に可能であるが、事業者の自発的な取組だけでは進みがたい

転換後から転換前の木材調達費の差分の1/2相当を定額で支援

設計費の1/2を支援

国産材の転換を後押しするとともに、転換の事例を全国及び地域で普及